

QSK にぬふあぶし

No.296

ね
子の方向の星



地域活動支援センターミッドリンク閉所のお知らせ

～ウリムとトムミムをバッグに入れて～

増山 幸司

パウロ・コエーリョの『アルケミスト』は、少年の宝探しの物語である。
スペインに暮らしていた羊飼いの少年は天啓てんけいに導かれて旅をする。

過去にこの本をぼくに勧めてくれた人が二人いて、一人は後に奥さんになる人で、もう一人はひらたつくなお平田嗣尚氏だった。

宇宙人・平田氏は2006年から、沖縄市地域活動支援センターミッドリンクの所長を務めてきた。それで予定通りに進んでいけば、このにぬふあぶしが発送される頃には、ミッドリンク“元”所長になっているはずである。仕事から離れて一時休憩に入っている。

自身の活動をして、ゲリラ戦、あるいは「無差別支援・直接援助」の「なんでも屋一」と称してきた平田氏は、2021年の始めの頃、突如、「ミッドリンクは社会的役割を終えた」として、その活動の年内解散を宣言した。

ミッドリンクは、一般的な地域活動支援センターⅢ型の枠を超え、ホームレス支援、変な人支援など、地域における多様多彩な「困りごと」の対応を続けてきた。
(2ページへ続く…)

